

Report of Region 10 SB/YP/WIE Congress

Osamu Toda

Tokyo YP, Student Branch Liaison
(Keio SB chair, The 12th Towers staff)

プロフィール: 外田 脩(Toda Osamu)



● 山形県(出身) → 新潟県(大学B,M) → 首都圏 (博士課程)

● 現所属: 慶應義塾大学 大学院 理工学研究科

総合デザイン工学科 博士3年

来期: 電機メーカー (静岡県 沼津市) に就職予定

Nagoya YP, Tokyo YP共に活動圏内?!

今後もIEEE会員として、研究・地域活動に参加します

プロフィール・外田 脩(Toda Osamu)



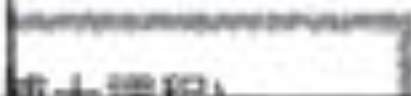
今度GREENINGとして、WIE*地

● Keio Univ. Student Branch chair (04/2015 -現在)

キャリア形成ワークショップ(年2回)の運営、LMAG/SB/YP/WIE 交流会の準備

Tokyo YP様, JC WIE様の協力なサポートのお陰です

プロフィール・外田 脩(Toda Osamu)



● Keio Univ. Student Branch chair (04/2015 -現在)

キャリア形成ワークショップ (年2回)の運営、LMAG/SB/YP/WIE 交流会の準備

Tokyo YP様, JC WIE様の協力なサポートのお陰です

● The 12th Tokyo Young Researchers work shop staff

SB見学(01/2015)のはずが、いつの間にか実行委員に!?

今年度の成果: 「研究の社会的価値」を見つける場所を提供

プロフィール: 外田 脩(Toda Osamu)



● 山形県(出身) → 新潟県(大学B,M) → 首都圏 (博士課程)

● 現所属: 慶應義塾大学 大学院 理工学研究科

総合デザイン工学科 博士3年

来期: 電機メーカー(静岡県 沼津市)に就職予定

Nagoya YP, Tokyo YP共に活動圏内?!

今後もIEEE会員として、研究・地域活動に参加します

● Keio Univ. Student Branch chair (04/2015 -現在)

キャリア形成ワークショップ(年2回)の運営、LMAG/SB/YP/WIE 交流会の準備

Tokyo YP様, JC WIE様の協力なサポートのお陰です

● The 12th Tokyo Young Researchers work shop staff

SB見学(01/2015)のはずが、いつの間にか実行委員に!?

今年度の成果: 「研究の社会的価値」を見つける場所を提供

R10Congress 参加概要

- 日本支部：11名
 - Tokyo YP: 4名 (西宮 chair, 外田, 何, She)
 - JC WIE: 1名, Kansai YP: 1名, Kansai WIE: 1名
 - SB: 4名 (東京理科大, 明治大, 北海道大, 香川大, 慶應大)

・開催日：7月9-12日(4日間)

・主要日程

1日目 Ice cream breaking

レクリエーションを通じた交流会

2日目 メインセッション

SB / YP / WIEそれぞれに分かれ、グループディスカッション

YP：YP発展のための議論

SB：ランチの運営方法、補助金の取り方、コミュニケーション術

WIE：各支部の活動報告 (←1時間超の押し)

3日目 スペシャルセッション

Financial Management Onoye Takao 教授(大阪大学)講演

Humanitarian Tech., Industry Applications Society 活動例の報告など

文化交流会(multicultural performance)

4日目 Closing ceremony

R10Congress 参加概要

- 日本支部：11名
 - Tokyo YP: 4名 (西宮 chair, 外田, 何, She)
 - JC WIE: 1名, Kansai YP: 1名, Kansai WIE:
 - SB: 4名 (東京理科大, 明治大, 北海道大, 香川)



・開催日：7月9-12日(4日間)

・主要日程

1日目 Ice cream breaking

レクリエーションを通じた交流会

2日目 メインセッション

SB / YP / WIEそれぞれに分かれ、グループディスカッション

YP: YP発展のための議論

SB: ブランチの運営方法, 補助金の取り方, コミュニケーション術

WIE: 各支部の活動報告 (← 1時間超の押し)

3日目 スペシャルセッション

Financial Management Onoye Takao 教授(大阪大学)講演

Humanitarian Tech., Industry Applications Society 活動例の報告など

文化交流会(multicultural performance)

4日目 Closing ceremony

R10Congress 参加概要

- 日本支部：11名
 - Tokyo YP: 4名 (西宮 chair, 外田, 何, She)
 - JC WIE: 1名, Kansai YP: 1名, Kansai WIE: 1名
 - SB: 4名 (東京理科大, 明治大, 北海道大, 香川大, 慶徳大)

・開催日：7月9-12日(4日間)

・主要日程

1日目 Ice cream breaking

レクリエーションを通じた交流会

2日目 メインセッション

SB / YP / WIEそれぞれに分かれ、グループディスカッション

YP：YP発展のための議論

SB：ランチの運営方法、補助金の取り方、コミュニケーション術

WIE：各支部の活動報告 (← 1時間超の押し)

3日目 スペシャルセッション

Financial Management Onoye Takao 教授(大阪大学)講演

Humanitarian Tech., Industry Applications Society 活動例の報告など

文化交流会(multicultural performance)

4日目 Closing ceremony



R10Congress 参加概要

- 日本支部：11名
 - Tokyo YP: 4名 (西宮 chair, 外田, 何, She)
 - JC WIE: 1名, Kansai YP: 1名, Kansai WIE: 1名
 - SB: 4名 (東京理科大, 明治大, 北海道大, 香川大, 慶應大)

・開催日：7月9-12日(4日間)

・主要日程

1日目 Ice cream breaking

レクリエーションを通じた交流会

2日目 メインセッション

SB / YP / WIEそれぞれに分かれ、グループディスカッション

YP：YP発展のための議論

SB：ランチの運営方法、補助金の取り方、コミュニケーション

WIE：各支部の活動報告 (← 1時間超の押し)

3日目 スペシャルセッション

Financial Management Onoye Takao 教授(大阪大学)講演

Humanitarian Tech., Industry Applications Society 活動例の報告など

文化交流会(multicultural performance)

4日目 Closing ceremony



R10Congress 参加概要

- 日本支部：11名
 - Tokyo YP: 4名 (西宮 chair, 外田, 何, She)
 - JC WIE: 1名, Kansai YP: 1名, Kansai WIE: 1名
 - SB: 4名 (東京理科大, 明治大, 北海道大, 香川大, 慶應大)

・開催日：7月9-12日(4日間)

・主要日程

1日目 Ice cream breaking

レクリエーションを通じた交流会

2日目 メインセッション

SB / YP / WIEそれぞれに分かれ、グループディスカッション

YP：YP発展のための議論

SB：ランチの運営方法、補助金の取り方、コミュニケーション術

WIE：各支部の活動報告 (←1時間超の押し)

3日目 スペシャルセッション

Financial Management Onoye Takao 教授(大阪大学)講演

Humanitarian Tech., Industry Applications Society 活動例の報告など

文化交流会(multicultural performance)

4日目 Closing ceremony



最終日の記念撮影

R10（アジア・オセアニア）より、100名近くの参加者が集まる。

半分以上が、南アジアの各支部からの参加

（1セッション、4-8名程度の学生）

（近隣開催のため、旅費が少なくて済んだためとのこと）

印象的なセッション：

Young Professional Brainstorming Session

テーマ：YPの今後の発展について



◆ 国別に、アピール方法が全く異なる説明

- ◆ → 最初：内容を理解するのに戸惑うことが多い
- ◆ → 中盤：相手の納得するロジックの構成に面白さ

◆ 参加者：意見を積極的に主張することに重き

- ◆ → 「相手の意見を立てる」スタンスでは弾かれる
- ◆ 日本人の気質 ↔ R10で通用する素質

◆ ディスカッション構成の違い

- ◆ ①：参加者の主張を全て出し合う
- ◆ ②：共通項のみを抽出し、グループの意見にまとめる
 - ◆ 日本：「互いの意見を立てることで導く思考力」
 - ◆ → 独自の議論形態であり、強みであることを再確認

印象的なセッション：

Young Professional Brainstorming Session

テーマ：YPの今後の発展について

◆ 国別に、アピール方法が全く異なる説明

- ◆ → 最初：内容を理解するのに戸惑うことが多い
- ◆ → 中盤：相手の納得するロジックの構成は

◆ 参加者：意見を積極的に主張することに重き

- ◆ → 「相手の意見を立てる」スタンスでは強
- ◆ 日本人の気質 ←→ R10で通用する

◆ ディスカッション構成の違い

- ◆ ①：参加者の主張を全て出し合う
- ◆ ②：共通項のみを抽出し、グループの意見にまとめる
 - ◆ 日本：「互いの意見を立てることで導く思考力」
 - ◆ → 独自の議論形態であり、強みであることを再確認



WIEセッション：各セクションの活動報告10分を、10分超過するなど発信力の違いに圧倒

印象的なセッション:

Special Interesting of Humanitarian Technology

Humanitarian Technology (HT: 人道的技術活動)

活動目的: セクション内で課題となっている社会問題解決のため研究開発と普及
(会議を通しての個人的な認識@外田)

①メンバー数: 6名が最低条件, ②予算: 年間500ドル

(!) R10-HTC@日本でも議案に。-具体的な活動とは?日本支部では難しい?

印象的なセッション:

Special Interesting of Humanitarian Technology

Humanitarian Technology (HT: 人道的技術活動)

活動目的: セクション内で課題となっている社会問題解決のため研究開発と普及
(会議を通しての個人的な認識@外田)

①メンバー数: 6名が最低条件, ②予算: 年間500ドル

(!) R10-HTC@日本でも議案に。→具体的な活動とは?日本支部では難しい?

多くのHTグループが設立 @インド支部

- 技術分野が関連する**研究室と共同して設立**
- HTとしての研究を**大学生メインで実施**
- 活動費を直接学生に与えることで**主体性を促す**

印象的なセッション:

Special Interesting of Humanitarian Technology

Humanitarian Technology

活動目的: セクション内で

①メンバー数: 6名が最低

(1) R10-HTC@日本でも

多くのHTグループが設立 @

→ 技術分野が関連する研究

→ HTとしての研究を大学

→ 活動費を直接学生に与え



具体例

◆ 沿岸地区向け簡易基地局設備の研究開発

◆ ←スマトラ島沖地震の津波被害からの迅速普及を目指し設立

◆ 太陽光発電を用いた人力車の電動化の研究開発

◆ ←地域のニーズを反映して提案

印象的なセッション:

Special Interesting of Humanitarian Technology

Humanitarian Technology (HT: 人道的技術活動)

活動目的: セクション内で課題となっている社会問題解決のため研究開発と普及
(会議を通しての個人的な認識@外田)

①メンバー数: 6名が最低条件, ②予算: 年間500ドル

(!) R10-HTC@日本でも議案に。←具体的な活動とは? 日本支部では難しい?

多くのHTグループが設立 @インド支部

- 技術分野が関連する**研究室と共同して設立**
- HTとしての研究を**大学生メインで実施**
- 活動費を直接学生に与えることで**主体性を促す**

具体例

- ◆ **沿岸地区向け簡易基地局設備の研究開発**
 - ◆ ←スマトラ島沖地震の津波被害からの迅速普及を目指し設立
- ◆ **太陽光発電を用いた人力車の電動化の研究開発**
 - ◆ ←地域のニーズを反映して提案

印象的なセッション:

文化交流セッション Performance・Exhibition

パフォーマンス部門:

日本支部→鳥唄

- ・三味線：西宮（東京YP）、小太鼓：津村（明治大SB）
- ・WIE Chairの橋本先生も土壇場で参加
- ・前日晩に合奏練習
- ・法被や着物が非常に好評！



トルコ・インド支部など

→ 他のセクションの方も一緒に踊り参加できるように工夫を施し好評



s印象的なセッション:

文化交流セッション Performance・Exhibition

文化紹介部門:

日本支部→

けん玉、折り紙、竹とんぼ、花札、扇子、マンガ、雑誌（などなど）
パフォーマンス

参加者の和名をプレゼント（筆ペン・半紙を用いて）
最も好評なイベント！次回はもっと半紙が必要か？

コミュニケーションが不足した国の方々とも
短時間で理解しあえることができた

ディスカッションや議論するよりも、
簡単に話題を共有出来ることは、
国際交流会として前提となるのでは？



会議を全体通しての感想

- ◆ 専門分野に捉われず幅広い専門・文化圏の方々との交流
 - ◆ →コミュニケーション・議論のロジックの違いに驚き
 - ◆ →R10に合ったプレゼンス法があり、その努力が必要
- ◆ 各国に長所・短所が存在し、見つめ直す機会
 - ◆ 時間にルーズな面を持つ国々
 - ◆ →一方で強力なプレゼンス力を有す
 - ◆ 相手の意見を立てるスタイルだが、プレゼン力に不足
 - ◆ →発言のロジック性は強固
- ◆ 急に意見・提案を求められる場面が多数
 - ◆ 聞き手の評価を気にしてしまい、十分な発言ができない場面が多数
 - ◆ 他国の参加者は・・・
 - ◆ →自分が何を言えるのか？、主張したいのか？に焦点を絞る
 - ◆ 物事をシンプルに捉える工夫をしている。

謝辞

IEEE 東京支部からのご支援に、改めて心より御礼申し上げます。

